



JIS 版

参照番号: AC-J-4135

作成日: 2017年12月19日

改訂日: 2023年06月30日

## 安全データシート (SDS)

この SDS は、JIS [日本]の規則に従い作成されている。

### 1. 製品及び会社情報

#### 1.1. 製品名

製品名: アドパック-S  
型式: SK-7 (M)  
一般名: 防錆紙 (または気化性防錆紙)

#### 1.2. 会社情報

会社名: アドコート株式会社  
住所: 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台一丁目 2 番地 20  
電話番号: 0774-66-1911  
Fax 番号: 0774-94-9027  
緊急時の連絡先: 0774-66-1911

#### 1.3. 推奨用途

鉄及び/又は銅系金属の防錆包装 [JIS Z 0303:2009 の RP1-K1、RP2-K、RP3-K]

### 2. 危険有害性の要約

#### 2.1. GHS 分類

物理化学的危険性: 成形品のため分類対象外  
健康に対する有害性: 成形品のため分類対象外  
環境に対する有害性: 成形品のため分類対象外

#### 2.2. ラベル要素

絵表示: なし  
注意喚起語: なし  
危険有害性情報: なし  
注意書き: なし

#### 2.3. 他の危険有害性

PBT 及び vPvB 評価を満たさない。

### 3. 組成及び成分情報

#### 3.1. 物質、混合物及び成形品の区別

成形品

#### 3.2. 成分情報

成分名	濃度/wt%	CAS No.	官報公示整理番号
セルロース	75 - 90	9004-34-6	—
水	1 - 10	7732-18-5	—
気化性防錆剤	5 - 15	—	—
印刷インク [青]	< 0.1	—	—

気化性防錆剤の詳細な情報については、企業秘密のため開示できません。

### 4. 応急処置

#### 4.1. 応急措置の説明

吸入した場合: うがいをすること。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 水と石鹼で洗うこと。

皮膚の刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合: 水で 15-20 分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 口を水ですすぐこと。

気分が悪い場合は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 4.2. 予想される急性症状及び遅発性症状

情報なし

#### 4.3. 応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

情報なし

### 5. 火災時の措置

#### 5.1. 消火剤

水、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂

#### 5.2. 使用禁止の消火剤

紙製品は、二酸化炭素消火剤が適さない。

### 5.3. 特有の危険有害性

有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物)を発生する可能性がある。

### 5.4. 特有の消火方法及び消火を行う者の保護

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から製品を移動する。

消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具 (“8. 暴露防止及び保護措置”を参照)を着用し、眼及び皮膚への接触を避ける。

### 6.2. 環境に対する注意事項

環境中への放出を避ける。

### 6.3. 封じ込めおよび浄化の方法

掃除用具で、ポリ袋等に回収する。

### 6.4. 二次災害の防止策

紙片を踏むと滑る危険性があるため、こまめに処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 7.1. 取扱い

技術的対策: “8. 暴露防止及び保護措置”に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項: 気化性防錆剤の気化が促進されるため、高温環境を避ける。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

取扱いや保管場所の近傍での飲食、喫煙しないこと。

### 7.2. 保管

技術的対策: 保管場所には、必要な照明及び換気の設備を設ける。

水濡れの恐れのない場所に保管し、転倒及び落下を防止する。

混触禁止物質: 酸化剤 (“10. 安定性及び反応性”を参照)

保管条件: 直射日光、熱、火気、酸化剤から離して保管する。

涼しく換気のよい場所で保管する。

容器を開放状態で保管しないこと。

容器包装材料: 防湿材で包装する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 8.1. 管理濃度・作業環境評価基準

ACGIH TLV-TWA (2013):	10 mg/m <sup>3</sup> (Cellulose)
ACGIH TLV-STEL (2013):	該当しない
UK HSE WEL-TWA (2011):	10 mg/m <sup>3</sup> (Cellulose; inhalable dust) 4 mg/m <sup>3</sup> (Cellulose; respirable)
UK HSE WEL-STEL (2011):	該当しない
EU IOELV (2015):	該当しない
OSHA PEL:	15 mg/m <sup>3</sup> (Cellulose; Total dust) 5 mg/m <sup>3</sup> (Cellulose; Respirable fraction)
日本産業衛生学会 (2016):	2 mg/m <sup>3</sup> (第3種粉塵; 吸入性粉塵) 8 mg/m <sup>3</sup> (第3種粉塵; 総粉塵)

### 8.2. 保護具

呼吸器の保護具:	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具:	保護手袋を着用する。
眼の保護具:	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

### 8.3. 設備対策

粉塵が発生する場合は、換気装置を使用する。

### 8.4. 衛生対策

- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 取扱いや保管場所の近傍での飲食、喫煙しないこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。

### 8.5. 暴露防止

環境への流出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観:	ロールもしくは平判
色合い:	薄茶色
におい:	わずかにアミン臭
臭気限界:	情報なし
pH:	情報なし
融点/凝固点:	情報なし
沸点/初留点/沸点範囲:	情報なし
引火点:	情報なし
蒸発速度:	情報なし

可燃性 (固体、気体):	情報なし
爆発限界:	情報なし
蒸気圧:	情報なし
蒸気密度:	情報なし
比重:	情報なし
溶解性:	情報なし
n-オクタノール/水 分配係数:	情報なし
発火点:	情報なし
分解温度:	情報なし
粘度:	情報なし

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1. 安定性

通常の手扱い条件下では安定である。

### 10.2. 反応性

通常の手扱い条件下では有害な反応は起らない。

### 10.3. 避けるべき条件

粉塵が発生する場合、換気装置を使用する。

直射日光、熱、火気、酸化剤を避け、涼しく換気のよい場所で保管する。

容器を開放状態で保管しないこと。

### 10.4. 混触危険物質

酸化剤

### 10.5. 有害な分解生成物

燃焼した時、有害ガス (一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物) を発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性:	該当しない
皮膚腐食性/刺激性:	該当しない
眼に対する重篤な損傷/刺激性:	該当しない
呼吸器または皮膚感作性:	該当しない
生殖細胞変異原性:	該当しない
発がん性:	該当しない
生殖毒性:	該当しない
特定標的臓器毒性 - 単回暴露 -:	該当しない
特定標的臓器毒性 - 反復暴露 -:	該当しない
吸引性呼吸器有害性:	該当しない

その他の情報: 関連情報なし

## 12. 環境影響情報

毒性:	該当しない
残留性/持続性:	関連情報なし
生体内蓄積性:	関連情報なし
土壤中の移動性:	関連情報なし
PBT 及び vPvB 評価:	PBT 及び vPvB 評価を満たさない。
他の有害影響:	関連情報なし

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄方法

各国及び地域の関連する法律/条例に従う。

### 13.2. 製品の包装材

洗浄後にリサイクルするか、各国及び地域の関連する法律/条例に従い廃棄する。

容器を処分するとき、残っている製品すべてを取り除くこと。

## 14. 輸送上の注意

### 14.1. 国内 (日本)規則

該当しない

### 14.2. 国連番号

該当しない

### 14.3. 国連出荷名

該当しない

### 14.4. 輸送時の危険性リスク

該当しない

### 14.5. 容器等級

該当しない

### 14.6. 環境有害性

該当しない

### 14.7. 使用者のための特別予防措置

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確

実に行う。

#### 14.8. MARPOL 73/78 の付属書 II 及び IBC Code

該当しない

### 15. 適用法令

#### 15.1. 日本 (JP)

消防法:	指定可燃物「品名: ぼろ及び紙くず」
毒物及び劇物取締法:	該当しない
労働安全衛生法:	該当しない
化学物質審査規制法:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 制度):	該当しない

#### 15.2. ヨーロッパ (EU)

RoHS (特定有害物質使用制限)指令:	該当しない
BPR (殺生物性製品)規則:	該当しない
SVHC (高懸念物質):	該当しない
POPs (残留性有機汚染物質)規則:	該当しない

#### 15.3. アメリカ (USA)

California Proposition 65:	記載なし
----------------------------	------

### 16. その他の情報

#### 16.1. 参照番号

AC-J-4135

#### 16.2. 更新

作成日: 2017 年 12 月 19 日

改訂日: 2018 年 07 月 06 日

1 ページ目に「JIS 版」と記載

1.1 項に「型式」を追記

2019 年 10 月 30 日

1 ページ目の誤記を修正

2020 年 02 月 12 日

参考文献を「JIS Z 7252:2019」「JIS Z 7253:2019」「GHS (rev8)」に改訂

2023 年 06 月 30 日

参考文献を「GHS (rev9)」に改訂

#### 16.3. 参考文献

公的機関などの危険有害性情報

JIS Z 0303:2009

JIS Z 7252:2019

JIS Z 7253:2019

(EC) No 1907/2006

(EC) No 1272/2008

Hazard Communication Standard

GHS (rev9)

[ 免責事項 ]

本 SDS は、JIS Z 7252:2019 及び JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成しています。しかしながら、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更いたします。また、注意事項等は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。